

補助事業番号 19-2-060

補助事業名 平成19年度 作業棟（障害者）等の建築 補助事業

補助事業者名 社会福祉法人いかり

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

いかり共同作業所は、現在3箇所に分かれ利用者28人（知的障害者26人・身体障害者2人）が通所している。どの作業所も、作業室は1部屋しかなく、作業室が食堂や休憩室を兼ねており、落ち着くための個室や体調が悪くなったときに静養するスペースもない。

新しい施設の建設は、利用者の労働環境を整備し、新たな作業にも挑戦するスペースも確保でき、働く意欲を一層高め、工賃アップにもつながる。

「仕事が変わるたびに作業所を移動するのは、しんどい」「もっと給料が欲しい」「いかりの仲間やもん。せめて1日に一度は顔を合わせたい」という利用者の声に応えるとともに、更に新しい入所者も迎え入れ、障害のある人たちが地域で安心して働き続けられる拠点となる役割を果たしていく。

いかり共同作業所の新施設については、地域からの要請もある。いかり共同作業所の所在地であり新たな施設建設の予定地である西出町は、約950世帯1500人の人口です。約35%が65歳以上の方で、約30%の285世帯が高齢者のみの世帯という典型的な高齢化地域である。小学校も統廃合で地元になくなり、市場（稲荷）も空き店舗が増え続けている状況の中で、「元気な高齢者の方が日中に集まる場所が欲しい」「地域の活性化の拠点に作業所を」という、「いかり」の新しい施設建設に西出町の人々からも大きな期待が寄せられている。

障害のある人たちが一人の人間として真に尊重され、自分のもてる力を十分に発揮して働ける場、日中活動の場を実現する。あわせて、障害者施設（事業所）と地域住民が、地域の文化資源（高田屋嘉平衛の資料展示などの提案あり）を活用して、協力共同の事業を実施する。さらに、震災での教訓を生かし、障害のある人だけでなく社会的弱者と言われる人たちのネットワークづくりの役割も担っていく。

このような取り組みが、真の「ノーマライゼーション」「ユニバーサル社会」への取り組みになるものとする。

福祉・まちづくり・歴史などの様々な機能をもつ「地域福祉の拠点」となり、他に例をみない新しいまちづくりの推進になり、もって社会福祉の増進に寄与する。

(2) 事業内容

作業棟（障害者）等の建築
鉄骨造 4階建 1棟
671.287 m²
冷暖房設備 374.843 m²
エレベーター 1基

2. 予想される事業実施効果

本施設が整備されたことにより、利用者を多数受け入れるスペースが確保でき、今後新しい利用者を受け入れることができる。また、作業室1（厨房）ができたことで、お弁当作り（配達も含む）の作業も軌道にのせ、工賃アップにもつなげることができる。展示・販売ホールは、今後地元自治会やまちづくり協議会との連携が進むことによって、重要性が高まってくることが予測できる。

3. 本事業により作成した印刷物等

なし

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名：社会福祉法人いかり
住所：652-0822
神戸市兵庫区西出町 2-4-4
代表者：理事長 高橋 敬
担当者名：管理者 光岡 留美子
電話番号：078-651-1902
F A X：078-651-7802
E-mail：ikari-nishide@m3.dion.ne.jp
URL：<http://www.h4.dion.ne.jp/~ikari-k>